

2020/09/20（日）の推拿セミナー

- 一、中医推拿療法の臨床原則——「弁証論治（べんしょうろんち）」
- 二、急性腰痛の改善における中医推拿療法の応用
- 三、推拿療法の基本手技の紹介——「扳法（ばんほう）・斜扳法（しゃばんほう）」
- 四、推拿練功の紹介——「海底撈月（かいていろうげつ）」

一、中医推拿療法の臨床原則——「弁証論治（べんしょうろんち）」

1. 弁証論治とは

中医学における疾病認識と疾病治療の基本原則。

[弁証]

四診によって収集した疾病についての各種の情報を分析し総合して

疾病の原因、部位、性質及び正邪の盛衰状態、

また、疾病の発展急緩などを見分け、概括して、ある証型を判断する。

[論治或いは施治]

弁証の結果に基づき、相応の治療原則、治療処方及び治療法を定める。

2. 弁証論治の内容

- ①病症の収集
- ②病症の分析（病因、病位、病性、正邪の状態、病勢の緩急）
- ③証型の帰納
- ④治療原則（治法）の制定
- ⑤治療の処方（薬・経と穴・技法）
- ⑥治療の実施

3. 推拿療法の弁証論治

- ①望診按診が主、問舌脈診が補佐かつ全体
- ②緩急・盛衰・病因病位病性などの判断
- ③証型の帰納
- ④治療原則（治法）の制定
- ⑤治療処方の制定（経脈・腧穴・手技）
- ⑥治療の実施

二、急性腰痛の改善における中医推拿療法の応用

（一）弁証

1. 症状

- ①激痛 ②可動状態の異常 ③他

2. 診察

- ①望診（形、態、色）
②按診（圧痛、触覚）
③問診（本人の感覚、病程など）
④脈診、舌診

3. 分類

- ①緩急の分類 ⇨ 急性と慢性の区別
（病症・病程・病勢・生活への影響）
②病因の確定
（外邪侵襲・打撲損傷・過労久耗・加齢老化）
③正邪盛衰の確定
（実証虚証の見分け）
④病位の確定
（経脈による定位）
⑤病性の弁別
（熱証寒証の見分け）

(二) 論治（施治）

1. 治療原則（治法）

- 「急則治其標」——疼痛軽減 動作改善
①経絡疎通・行気活血 ②筋肉柔軟 ③関節滑利

2. 推拿処方

- ①経脈（けい みやく）
〔背面〕督脈 膀胱経
〔側面〕胆経
〔正面〕任脈 胃経 脾経 腎経 肝経
②腧穴（ゆ けつ）
■基本腧穴 阿是穴 委中 腰痛穴 腎俞 環跳 等
■弁経取穴（相関する経絡上）
督脈：人中； 任脈：気海、関元；
膀胱経：承扶 委中 崑崙； 胆経：風市、陽陵泉
胃経：伏兔、足三里； 脾経：血海、陰陵泉
腎経：太谿、京骨； 肝経：章門
■弁証配穴〔実証〕 風池 風門 風市 陽陵泉
腰陽関 命門 腎俞 委中 承筋

承山 扶陽 崑崙 足三里 豊隆
〔虚証〕 腰部：腎俞 腰俞 腰陽関
腹部：気海 関元 中脘
下肢：太谿 太衝 足三里

③手技

滾法 按压法 按揉法 擦法 搓法 摩法 叩撃法
屈伸法 扳法 斜扳法

3. 推拿施療

- ① 摩法（背腰部全域）
- ② 滾法（督脈・膀胱經・胆經）
- ③ 按压法（疼痛点及び周辺）
- ④ 按揉法
- ⑤ 扳法（斜扳法）/ストレッチ（屈伸法）
- ⑥ 擦法/搓法（背部・下肢）
- ⑦ 撃法/拍法

三、推拿療法の基本手技の紹介——「扳法（ばん ほう）・斜扳法（しゃ ばん ほう）」

1. 扳法（ばん ほう）
2. 斜扳法（しゃ ばん ほう）

四、推拿練功の紹介——「少林内功・海底撈月（かい てい ろう げつ）」

※本文の転載及び転用はご容赦頂きますようお願い致します。